

「わたしたちの体育」を利用した学習事例（第2学年）

さぬき市立 津田小学校 堀井 太貴

第2学年	単元名	とびっこあそび
指導時間	7時間	児童教科書掲載ページ P36～39

【指導にあたって】

とびっこあそびは、走る・跳ぶなどの簡単な動きの運動遊びである。ここでは、助走を付けて片足で踏み切ったり、前方や上方に跳んだり、片足や両足で連続して跳んだりすることを通して、運動の楽しさに触れながら、走・跳の基本的な動きを身につけていくことが大切である。また、とびっこあそびに取り組む中で、順番や決まりを守ったり、安全に気をつけたりする態度を養うことを意識して実践を行った。

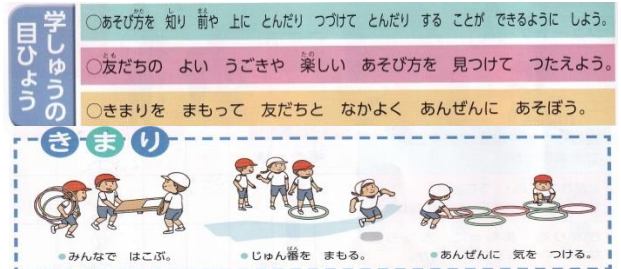
【安全にみんなが運動できるように・・・はじめに約束しよう、確認しよう】

- ・児童が夢中で活動に取り組むことで、周りが見えなくなったり、友達とぶつかってしまったりすることも予想されるので、あらかじめスタート位置や方向を決めておき、安全に楽しく活動ができるようにする。
- ・ゴムひもや段ボール、ペットボトルなど当たったり、倒したりしても痛くない学習用具を準備する。

【学習活動 第1時～第7時】

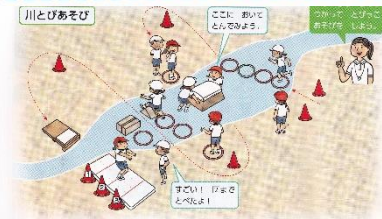
第1時

- オリエンテーションを行う。
  - ・学習の目標と進め方を知る。
  - ・用具の使い方について知る。
  - ・きまりや安全面について知る。
  - ・簡単な動きを行う。



第2～4時

- 「川とび」遊びを行い、グループでコースを作る。
  - ・グループで川とびのコースにチャレンジする。
  - ・コースクリアのための跳び方のポイントや気付いたことを伝え合う。



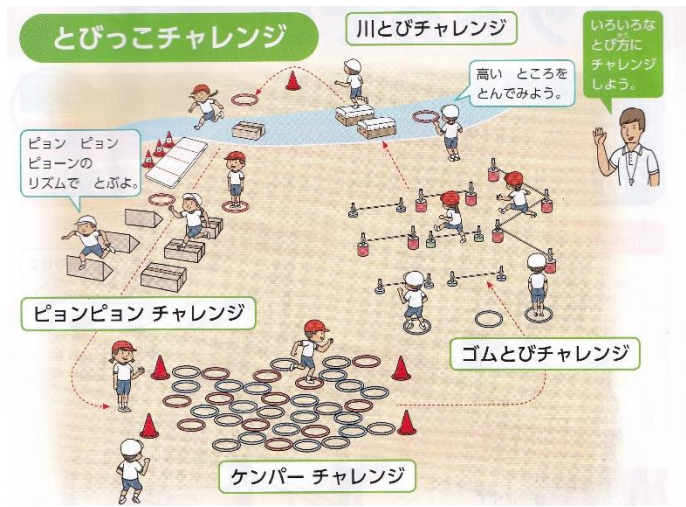
- 「ケンパーとび」遊びを行い、グループでコースを作る。
  - ・グループでケンパーのコースにチャレンジする。
  - ・コースクリアのための跳び方のポイントや気付いたことを伝え合う。



- 「ゴムとび」遊びを行い、グループでコースを作る。
  - ・グループでゴムとびのコースにチャレンジする。
  - ・コースクリアのための跳び方のポイントや気付いたことを伝え合う。



- 3つの遊びを組み合わせるコースを作る。
  - ・グループごとに3つの遊びを組み合わせるコースを作る。
  - ・話し合う、跳ぶという活動を繰り返し行い、みんながクリアできるコースを決定する。
- 違うグループのコースにチャレンジし、成功のコツを伝え合う。
  - ・違うグループのコースを実際に遊び、クリアのコツを考える。
  - ・自分のコースのクリアのコツを伝え合う
- 「とびっこチャレンジ」を行う。
  - ・それぞれの遊びの場を順に行う。
  - ・本単元の振り返りを行う。



第5～7時

**【評価の観点】**

知識及び技能	・とびっこ遊びの行い方を知るとともに、助走を付けて片足で踏み切り、前方や上方に跳んだり、片足や両足で連続して跳んだりすることができる。
思考力, 判断力, 表現力等	・とびっこ遊びの簡単な遊びを工夫するとともに、友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	・とびっこ遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動しようとしている。また、場の安全に気を付けている。

**【学習を通しての児童の反応, 児童の感想】**

児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でコースをつくる活動を設定したことで、コースをつくり変えては話し合いチャレンジするという流れができ、自然と何度も走る・跳ぶという動きをすることができた。</li> <li>・跳ぶ動きが苦手な子も、同じグループの子にアドバイスをもらったり、跳ぶ高さや距離を自分に合うように調整したりしたことでチャレンジできていた。</li> </ul>
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・並べ方を工夫することで、グループみんながクリアできてうれしかった。</li> <li>・片足でふみ切るとスムーズに、リズム良く跳べた。</li> <li>・友達に見てもらえると良いところと、直した方が良いところが良く分かった。</li> </ul>

**【「わたしたちの体育」を活用した学習について】**

- 様々な動きの例がイラスト入りで載っているので、単元構成の参考になったり、児童と動きのイメージを共有するのに役立ったりした。
- イラストの吹き出しの中に、動きや活動のヒントが書いてあり児童が参考にしていた。
- 教師用では発問の例や動きのポイントについて書かれており、参考になった。